

Infrastructure Manager V3.0.0

Infrastructure Manager(以降、ISM) は、サーバやストレージなどのICT機器からファシリティ機器までを統合的に管理・運用するソフトウェアです。

本商品を使用することで、ICTインフラ管理の統合、可視化、自動化、分析/予測によって運用管理のコストを削減します。

- ・【統合】複雑化する管理を統合して効率アップ
- ・【可視化】機器の状態や異常発生時の影響範囲をひと目で把握
- ・【自動化】処理を自動化し作業時間を大幅に削減、操作ミスも撲滅
- ・【予測・分析】AIを用いた分析でトラブルを未然に防止



適応機種 概要

- 管理サーバ (VMware, Hyper-V, KVM 3種類のハイパーバイザー上で仮想マシンとして動作)

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / PRIMERGY

- 管理対象(動作保証周辺機器を参照)

PRIMEQUEST 4000シリーズ / PRIMEQUEST 3000/2000シリーズ / マルチベンダーサーバ・クライアント / PRIMERGY

- 管理サーバ (VMware, Hyper-V, KVM 3種類のハイパーバイザー上で仮想マシンとして動作)
その他

-
- 管理対象(動作保証周辺機器を参照)

Red Hat Enterprise Linux 9 (for Intel64) / Red Hat Enterprise Linux 8 (for Intel64) / Red Hat Enterprise Linux 7 (for Intel64) / Windows Server 2022(64-bit) / Windows Server 2019(64-bit) / Windows Server 2016(64-bit) / VMware / その他

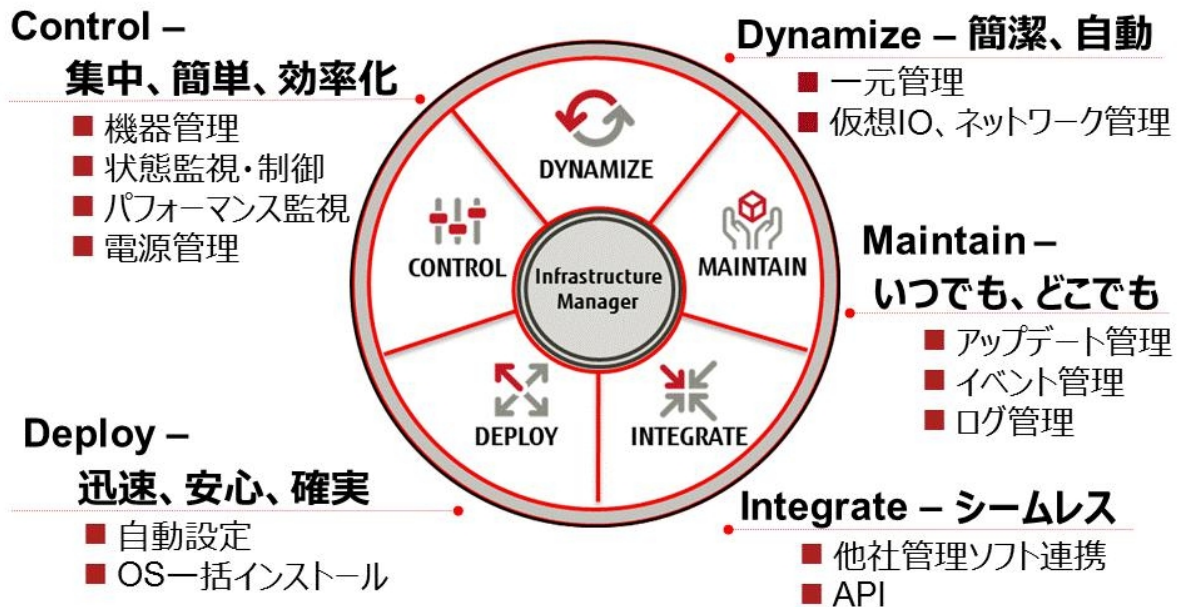
1. ISMによるICT機器のライフサイクル管理

ISMはICT機器のライフサイクル全般に渡って管理の手助けをすることが可能です。

ICT機器のライフサイクル、つまり機器導入や展開から、日々の管理監視、保守等、ライフサイクル全てで利用するISMの機能を5つに分類しています。

例えば、Deploy では、 機器導入に必要な プロファイルを使用したBIOSやファームウェアの自動設定、OSの一括インストールをサポートします。

図.1 ICT機器のライフサイクルをISMで管理



**Infrastructure Manager が
ICT機器のライフサイクルを管理**

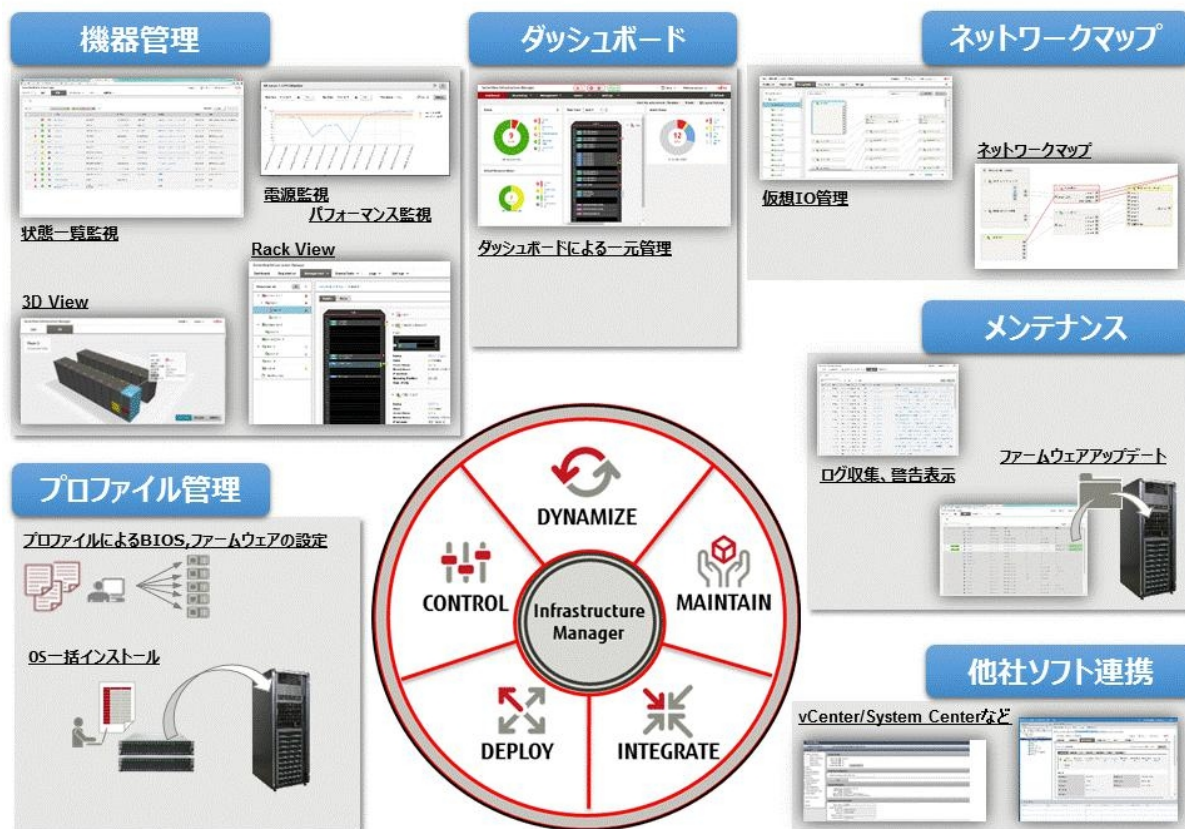
2. ライフサイクル毎の機能概要

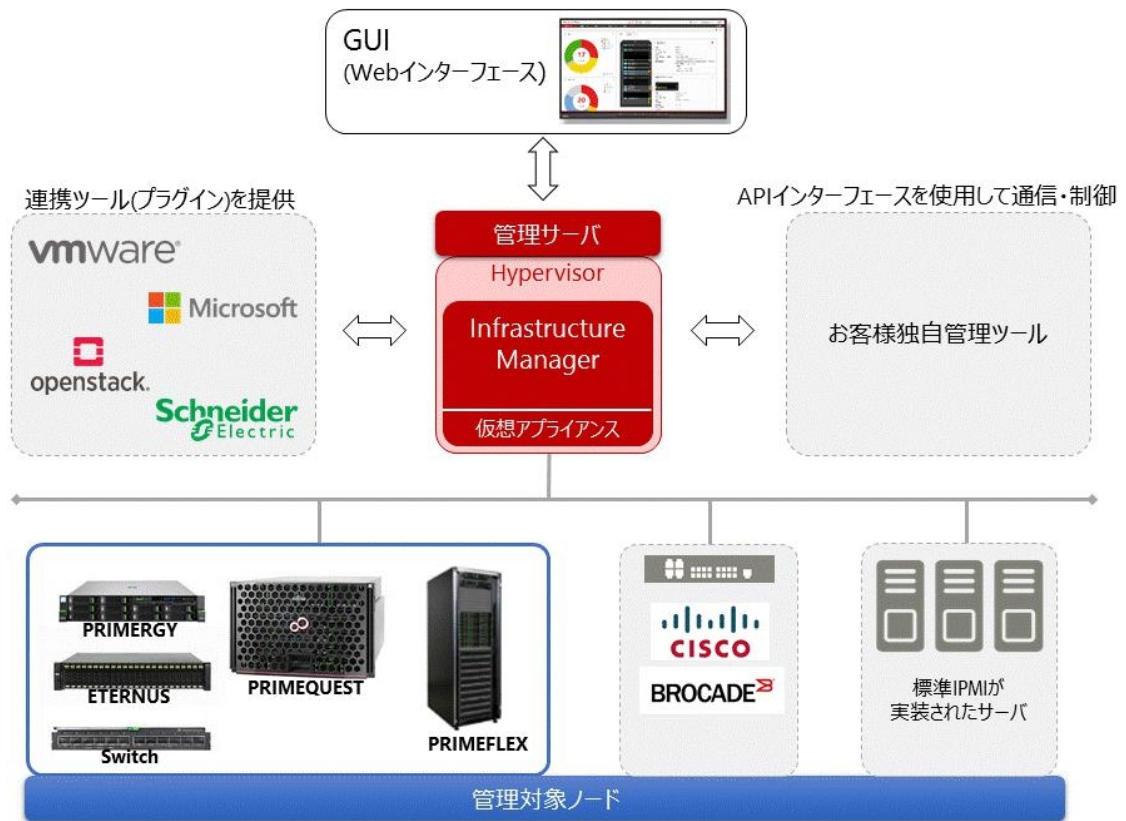
ISM では、ICT機器管理のライフサイクルそれぞれに対応する以下のような機能を提供します。（図.2）

- ・ 機器導入や展開時に必要なプロファイル機能を使用したBIOS、ファームウェアの設定やOSの一括インストール
- ・ 日々の管理監視に必要な、 3D ViewやRack Viewによる機器管理、ノードリストによる状態一覧監視、また、パフォーマンス監視や電源監視
- ・ ダッシュボードによる一元管理
- ・ ネットワークマップや仮想IO等の管理
- ・ 保守作業に必要な、ファームウェアのバージョン管理、ログ収集、警告表示
- ・ 統合管理に必要な、他社管理ソフトとの連携を実現するためのプラグインの提供や、APIインターフェースの提供、他社機器管理

※ 詳細な特長や機能についてはマニュアルやご紹介資料をご参照ください。

図.2 ライフサイクル毎の機能概要





V2.9.0からV3.0.0の機能強化項目は、以下の通りです。

1. 非永続ライセンス

使用期間を限定したライセンスを提供します。

これによって、導入時の初期投資を抑えることができます。また、本製品を期間限定で使用されるような場合には、期間に応じたライセンスを購入することによって、コストを削減することができます。

使用期間を1年/3年/5年で、サポートライセンスをバンドルしたライセンスを提供します。

2. SE負荷軽減ツール連携

ISM V3ではパートナーSE・SIerの作業負荷を軽減することを目的に、構築や設定を自動で行うことができる「SE負荷軽減ツール」を開発予定です。

ISM V3.0.0ではSE負荷軽減ツールの土台となる、ISMのPRIMERGY制御に必要なAPI基盤の整備を実施します。iRMCのモデル毎に応じた設定項目をiRMCから直接取得することで、従来のプロファイル機能よりも詳細なハードウェア設定を可能とします。

また従来より、PRIMERGYのモデル追加によるiRMC API追加のISM側のサポートの遅れが指摘されており、それらへの対処も本機能の目的としています。

具体的には、PRIMERGYの最新FW・最新モデルの導入時にISMのバージョンアップを行わずとも、構築・運用で求められる設定項目のほぼすべてに対応できるようになります。

3. ベースOSのアップデート

ISMが仮想アプライアンスとして動作するために組み込んでいるベースOSを最新化します。

セキュリティ脆弱性のリスクを軽減します。

4. サポート機種拡大

管理対象機器として、下記を追加サポートします。

- ・PRIMERGY GX2560 M7 (EMR)
- ・ETERNUS DX600 S6

サポートする管理対象機器と適用可能な機能の詳細および最新情報は、関連URLのお客様向けURL記載の「ソフトウェアサイト：(Infrastructure Manager)」Webサイトを参照してください。

5. サポートOS拡大

サポートするOSと適用可能な機能の詳細および最新情報は、関連URLのお客様向けURL記載の「ソフトウェアサイト：(Infrastructure Manager)」Webサイトを参照してください。

標準添付品

- ・ オンラインマニュアル
 - ・ オンラインマニュアルについては、留意事項の「オンラインマニュアルについて」を参照してください。

[メディアパック]

- Infrastructure Manager メディアパック(ESXi) V3.0.0
- Infrastructure Manager メディアパック(Hyper-V) V3.0.0
- Infrastructure Manager メディアパック(KVM) V3.0.0

[サーバライセンス]

- Infrastructure Manager Advanced Edition サーバライセンス(1年間24時間サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition サーバライセンス(3年間24時間サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition サーバライセンス(5年間24時間サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition サーバライセンス(1年間平日サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition サーバライセンス(3年間平日サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition サーバライセンス(5年間平日サポート付) V3

[ノードライセンス]

- Infrastructure Manager Advanced Edition 1ノードライセンス(1年間24時間サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition 1ノードライセンス(3年間24時間サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition 1ノードライセンス(5年間24時間サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition 1ノードライセンス(1年間平日サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition 1ノードライセンス(3年間平日サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition 1ノードライセンス(5年間平日サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition 5ノードライセンス(1年間24時間サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition 5ノードライセンス(3年間24時間サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition 5ノードライセンス(5年間24時間サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition 5ノードライセンス(1年間平日サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition 5ノードライセンス(3年間平日サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition 5ノードライセンス(5年間平日サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition 10ノードライセンス(1年間24時間サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition 10ノードライセンス(3年間24時間サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition 10ノードライセンス(5年間24時間サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition 10ノードライセンス(1年間平日サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition 10ノードライセンス(3年間平日サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition 10ノードライセンス(5年間平日サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition 20ノードライセンス(1年間24時間サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition 20ノードライセンス(3年間24時間サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition 20ノードライセンス(5年間24時間サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition 20ノードライセンス(1年間平日サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition 20ノードライセンス(3年間平日サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition 20ノードライセンス(5年間平日サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition 100ノードライセンス(1年間24時間サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition 100ノードライセンス(3年間24時間サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition 100ノードライセンス(5年間24時間サポート付) V3
- Infrastructure Manager Advanced Edition 100ノードライセンス(1年間平日サポート付) V3

- **Infrastructure Manager Advanced Edition 100**ノードライセンス(3年間平日サポート付) V3
- **Infrastructure Manager Advanced Edition 100**ノードライセンス(5年間平日サポート付) V3

1. メディアパックについて

(1)メディアパックは、媒体（DVD）及びダウンロードにて提供しており、機能が限定された「Essentialモード」で使用する為の権利のみが含まれています。「Advancedモード」として全ての機能を使用する為の権利（ライセンス）は含まれておりません。「Advancedモード」として本ソフトウェアの全ての機能をご使用するには、別途ライセンスを購入する必要があります。

(2)メディアパックは3種類ご用意しています。お客様のご利用する管理サーバの仮想環境に応じて、メディアパックを選択・入手してください。

2. サーバライセンス

サーバライセンスは、本商品をインストールする仮想マシン台数分購入してください。

Infrastructure Manager V3を使用する期間に応じてライセンスを選択してください。

使用期間には、1年/3年/5年があります。

購入されたサーバライセンスの使用期間を越えて使用を継続する場合、サーバライセンスを追加購入する必要があります。

3. ノードライセンス

管理サーバに登録するノード数分購入してください。

ノードライセンスは分割できませんので、導入する管理サーバ単位で購入数を計算ください。

ノード数としてサーバ、ストレージ、スイッチなど、IPアドレスを持つ機器をカウントします。

詳細は表1を参照してください。

Infrastructure Manager V3を使用してノードを管理、運用する期間に応じてライセンスを選択してください。

使用期間には、1年/3年/5年があります。

購入されたノードライセンスの使用期間を越えてノードの管理、運用を継続する場合、ノードライセンスを追加購入する必要があります。

表1 管理対象ノードとライセンスカウント

ノード種別		カウント単位	必要ノードライセンス数
サーバ	タワーサーバ/ラックサーバ	筐体 1台	1ノードライセンス
	マルチノードサーバ	サーバノード 1台	
	ブレードサーバ	シャーシ 1台	
		サーバブレード 1台	
		スイッチブレード 1台	
	PRIMEQUEST 3000B	筐体 1台	1ノードライセンス
	PRIMEQUEST 3000E/2000	筐体 1台	5ノードライセンス
ストレージ	ETERNUS DX	コントローラモジュールを1台以上含む物理コントローラ構成一式	1ノードライセンス
	ETERNUS NR	ノードを1台以上含む物理シャーシ構成一式	
ネットワーク機器		IPアドレス設定可能な 筐体 1台	
ファシリティ		※ファブリックIPはカウントせず	

4. ダウングレードについて

ISM V3 期限付きライセンスにより、お客様は、対象プログラムの旧バージョン製品(ServerView Infrastructure Manager V1を除く)を使用することができます。ただし、ISM V3 期限付きライセンスによりお客様に許諾される使用权を利用して当該旧バージョン製品と対象プログラムを同時に使用することはできないものとします。なお、当該旧バージョン製品のプログラム、メディア（媒体）等については、お客様が既に購入されたものを使用するものとします。

ISM V3に対して、「アップグレードプログラム」を適用してISM V2にダウングレードすることはできません。また、ISM V3で取得したバックアップをISM V2にリストアできません。

5. 購入例

--- 機器構成が以下の場合 ---

■ 管理サーバ（KVM）：1台

■ 管理対象機器

- ・スイッチ：2台
- ・ストレージ：2台
- ・ラックサーバ：2台
- ・シャーシ：7台（マルチノードサーバ）
- ・サーバノード：28台（マルチノードサーバ）
- ・PRIMEQUEST 2000シリーズ：1台

--- サーバライセンスの必要数算出 ---

■ 管理サーバの場合

- ・（インストールする仮想マシン毎に1ライセンスが必要）x 1 = 1本

合計：1本

--- ノードライセンスの必要数算出 ---

■ スイッチの場合

- ・ (筐体1台で1ノードライセンス必要) x 2台 = 2ノード分

■ ストレージの場合

- ・ (構成1式で1ノードライセンスが必要) x 2台 = 2ノード分

■ ラックサーバの場合

- ・ (筐体1台で1ノードライセンスが必要) x 2台 = 2ノード分

■ シャーシの場合

- ・ マルチノードサーバのシャーシはライセンスの必要なし

■ サーバノードの場合

- ・ (サーバノード1台で1ノードライセンスが必要) x 28台 = 28ノード分

■ PRIMEQUEST 2000シリーズの場合

- ・ (筐体1台で5ノードライセンスが必要) x 1台 = 5ノード分

2ノード分(スイッチ) + 2ノード分(ストレージ) + 2ノード分(ラックサーバ) + 28ノード分(サーバノード)
+ 5ノード分(PRIMEQUEST) = 39ノード分

合計：39ノード分

--- 購入が必要なメディア、ライセンス ---

■ メディア

- ・ Infrastructure Manager メディアパック(KVM) V2 × 必要数分

■ サーバライセンス：合計 1サーバ分

- ・ Infrastructure Manager Advanced Edition サーバライセンス V3 × 1本

■ ノードライセンス：合計39ノード分

- ・ Infrastructure Manager Advanced Edition 1ノードライセンス V3 × 4本
- ・ Infrastructure Manager Advanced Edition 5ノードライセンス V3 × 1本
- ・ Infrastructure Manager Advanced Edition 10ノードライセンス V3 × 1本
- ・ Infrastructure Manager Advanced Edition 20ノードライセンス V3 × 1本

6. 製品のアップグレードについて

本商品をお持ちの場合は、有償サポート・サービス「SupportDesk」のサービスの一環として、最新バージョン/レベルを提供いたします。（お客様からのご要求が必要です。）

「SupportDesk」を導入されていない場合は、新バージョン/レベル商品を改めてご購入頂く必要があります（価格の優遇はございません）のでご注意ください。

なお、「SupportDesk」の詳細については、関連URLのお客様向けURL記載の「ソフトウェアサイト：（Infrastructure Manager）」Webサイトを参照してください。

Infrastructure Manager V2からV3にアップグレードした際、V2で登録済みのサーバライセンスおよびノードライセンスは、5年間（1825日間）の期限付きライセンスに切り替わります。

アップグレードしてから5年以上使用し続けた場合、サーバライセンスを継続して使用する期間に応じたサーバライセンスを購入する必要があります。ノードライセンスも継続して使用するノード数と使用期間に応じたノードライセンスを購入する必要があります。

7. 製品のサポートサービスについて

本製品では、有償サポート・サービス「SupportDesk」がバンドルされたライセンス製品を商品化しております。

本製品のサポートサービスに関する留意事項は以下のとおりです。

(1) サポート対象

本製品にバンドルされている「SupportDesk Standard」のサポート対象はISMのみです。ハードウェアやゲストOSのサポートは、別途SupportDeskの契約が必要です。

(2) サポート期間

本製品のサポートサービスには、1年間、3年間、5年間、3つのサポート期間があります。

(3) サポートサービスの時間帯

本製品のサポートサービスには、以下2つのサポート時間帯があります。

- 24時間サポート
- 平日(8:30 - 19:00)サポート

(4) サポートサービス期間満了時について

本製品のサポートサービス期間満了時に、サポートサービスを継続するには、別途、SupportDesk契約の更新が必要です。

1. サポートする管理対象機器

(1) サーバ

PRIMERGY TXシリーズ、RXシリーズ、CXシリーズ、GXシリーズ、BXシリーズ、PRIMEQUEST 4000/3000/2000シリーズ

これら以外のサーバについては、以下のハイパーバイザーが動作保証されているサーバが対象となります。

- Microsoft Windows Server
- Azure Stack HCI OS
- VMware ESXi
- KVMがインストールされている Red Hat Enterprise Linux
- KVMがインストールされている SUSE Linux Enterprise Server
- Nutanix AHV/XF

(2) ストレージ

ETERNUS DXシリーズ、AFシリーズ、NRシリーズ、AXシリーズ、HXシリーズ、ABシリーズ、HBシリーズ

(3) ネットワーク機器

SHシリーズ、SR-Xシリーズ

Brocade ICXシリーズ

ExtremeSwitching VDXシリーズ

Cisco Catalystシリーズ、Nexusシリーズ

IPCOM VX2

Brocade FC Switch

(4) ファシリティ

Astek RackCDU

PDU、UPS

※ サポートする管理対象機器と適用可能な機能の詳細および最新情報は、関連URLのお客様向けURL記載の「ソフトウェアサイト（Infrastructure Manager）」Webサイトを参照してください。

1. 仮想アプライアンスの動作環境

仮想アプライアンスの動作環境については、関連URLのお客様向けURL記載の「ソフトウェアサイト（Infrastructure Manager）」Webサイトを参照してください。

2. 管理コンソール

管理コンソールにおいて、サポートするブラウザは以下の通りです。

- ・ Microsoft Edge
- ・ Mozilla Firefox
- ・ Google Chrome

サポートするブラウザや管理コンソールの最新情報は、関連URLのお客様向けURL記載の「ソフトウェアサイト（Infrastructure Manager）」Webサイトに掲載の「Infrastructure Manager V3.0.0 解説書」を参照してください。

3. スマートデバイス

本商品のISM管理コンソールは、スマートデバイスでのブラウザを利用した運用に対応しています。

サポートブラウザ等の詳細情報は、関連URLのお客様向けURL記載の「ソフトウェアサイト（Infrastructure Manager）」Webサイトに掲載の「Infrastructure Manager V3.0.0 解説書」を参照してください。

4. 管理対象機器数

管理サーバ1台に対し、管理可能な機器数（ノード数）は1000台までです。

5. ライセンスキー

ライセンスキーはサーバライセンスおよびノードライセンスに添付されています。

ライセンスキーは再発行できませんので、注意してください。

サーバライセンスおよびノードライセンスのライセンスキーが管理サーバに登録されていない場合、「Essentialモード」として使用できる機能が限定されます。

ライセンスキーには、購入されたライセンスの使用期間が設定されています。

ライセンスキーを管理サーバ（Infrastructure Manager）に登録した日が使用開始日となります。

使用期限の90日前になると、期限切れの予告が通知されます。30日前になると、Infrastructure Managerを操作する画面のログインでは毎回予告のメッセージが表示されるようになります。

通知、メッセージ表示以外には、機能に制約はかかりません。

6. アップグレードについて

Infrastructure Manager V2からV3へのアップグレードは、稼働しているV2の環境でISMのバックアップファイルを採用します。このバックアップファイルを新たに構築したV3の環境に取り込みます。

V2の環境でバックアップファイルを採用する際には、V2.9.0の最新の修正パッチを適用しておく必要があります。

7. オンラインマニュアルについて

オンラインマニュアルは以下のとおりです。

- ・ Infrastructure Manager V3.0.0 入門書
- ・ Infrastructure Manager V3.0.0 解説書
- ・ Infrastructure Manager V3.0.0 操作手順書

- Infrastructure Manager V3.0.0 REST API リファレンスマニュアル
- Infrastructure Manager V3.0.0 プロファイル管理機能 プロファイル設定項目集
- Infrastructure Manager V3.0.0 汎用監視機能操作手順書
- Infrastructure Manager V3.0.0 メッセージ集
- Infrastructure Manager V3.0.0 用語集

上記のオンラインマニュアルについては、関連URLのお客様向けURL「ソフトウェアサイト（Infrastructure Manager）」Webサイトを参照してください。

8. 前版との違いについて

下記はハードのサポート終了に伴い、ISMの管理対象機器としてサポートを終了しました。

- PRIMERGY RX2560 M2
- PRIMERGY RX4770 M3
- PRIMERGY TX1320 M3
- PRIMERGY BX900 S2
- PRIMERGY BX2560 M2 / BX 2580 M2
- PRIMERGY CX2550 M4 / CX2560 M4
- PRIMERGY CX1640 M1
- PRIMEQUEST 2400 S3/S3 Lite/E3
- PRIMEQUEST 2800 E3
- ETERNUS NR1000 A200 / F2620 / F2650
- ETERUNS DX80 S2 / DX90 S2
- Asetek Rack CDU

下記OSはISMの管理対象機器のOSとしてサポート対象外となりました。

- Red Hat Enterprise Linux 7.6
- Red Hat Enterprise Linux 7.9
- Red Hat Enterprise Linux 8.7
- Red Hat Enterprise Linux 9.0
- Red Hat Enterprise Linux 9.1
- SUSE Linux Enterprise Server 15 SP1

お客様向けURL

- ・ ソフトウェアサイト (Infrastructure Manager)

製品概要や動作環境、価格、オンラインマニュアル、製品紹介資料等を提供しております。

<https://www.fujitsu.com/jp/products/software/infrastructure-software/infrastructure-software/serverviewism/>